

# 八丈島 水産だより 2月号 2019



アロエ



文化フェスティバル

太陽の出ている時間が徐々に伸びているように感じますが、八丈島でも冷たい風が強く吹き付けることが多く寒い日が続いています。

さて、2月10日に八丈島文化フェスティバルが開催されました。今年は第30回の節目を迎え、八丈太鼓からフラダンス、バンドなど島内の様々な文化団体が参加し、日頃の活動の成果を披露しました。

さいきん りょうもよう

## ■ 最近の漁模様

1月は海が時化になることが多く、水揚げは少なくなっています。遠くの外まで行けないことが多いため、漁師さんたちは島周辺でメダイやカツオといった魚を狙います。そして、この時期から海の上を飛んでいる姿が少しずつ見え始めるトビウオも、黒潮が島から離れてしまっているためか、まだほとんど見かけられないようです。



カツオ



メダイ

さんぎょうさい かいさい

## ■ 産業祭が開催されました



産業祭



女性部ブース



すり身汁



ビクトリーブーケ

今年も1月26、27日に八丈町役場にて「八丈島産業祭」が開催されました。島の農作物や工芸品の品評会と表彰式、苗木の無料配布やもちつき大会などが行われました。

漁協女性部も毎年参加しており、ムロ節ご飯やトビウオコロッケなど手作りのお総菜が販売されました。また、今後の商品開発に向けた調査として、トビウオすり身汁の試食アンケートも行われました。